

MS-Nシリーズ 電磁開閉器 仕様変更ニュース

形名	MSO-2×N10/N11※1 MSOD-2×N11※1 形電磁開閉器 S-2×N10/N11(※1)SD/SG/SX/SF、SD-2×N11(※1)SD/SG/SX/SF 形電磁接触器 ※1：形名後に「CX, SA」等が付加される特殊仕様品も含まれます。		
変更箇所	主回路接続導体		
電磁開閉器に関する変更内容	主回路接続導体の形状を変更します。(例：MSO-2×N10/N11)		
		変更前	変更後
	主回路接続導体外観		
	電磁開閉器外観		
変更点説明	①電源側： 丸圧着端子付電線 3本 ②負荷側： 電線 3本	③電源側、④負荷側： 単線を樹脂で一体化した導体	
従来との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・互換性あり ・配線方法の新旧比較については「新旧配線方法比較」を参照して下さい。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・S-2×N□SD/SG/SX/SF、SD-2×N□SD/SG/SX/SF についても主回路接続導体に変更になります。(□には 10 または 11 が入ります) 		

- 変更理由：取扱性向上のため
- 識別方法：目視
- 切替時期：2008年6月生産分より順次

●新旧配線方法比較

	変更前	変更後
MSO-2×N10CX/N11CX		
配線方法解説	<ol style="list-style-type: none"> ① 配線する端子の CAN 端子カバーを上げる。 ② 主回路電線と主回路接続導体を挿入する。 ③ 主回路 CAN 端子カバーを押込む。 ④ 主回路ネジを締付ける。 ⑤ ①～④を 3 回 (L1, L2, L3 端子) 繰り返す。 ⑥ 補助/制御電線を挿入する。(補助配線は未描画) ⑦ 補助/制御 CAN 端子カバーを押込む。 ⑧ 補助/制御ネジを締付ける。 <p>※①～⑤と⑥～⑦は逆でもよい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 主回路電線配線側の主/補助端子及び R0 端子の CAN 端子カバーを上げる。 ② 主回路電線 3 本を挿入する。 ③ 主回路 CAN 端子カバーを押込む。 ④ 電源側導体を挿入する。 ⑤ 主回路ネジを全て締付ける。 ⑥ 補助/制御電線を挿入する。 ⑦ 補助/制御 CAN 端子カバーを押込む。 ⑧ 補助/制御ネジを締付ける。 <p>主回路接続導体挿入後は CAN 端子カバーを操作できません。操作したい場合は主回路接続導体を取外してから操作してください。</p>
MSO-2×N10/N11		
配線方法解説	<ol style="list-style-type: none"> ① 配線する端子のネジを外す。 ② 主回路電線と主回路接続導体を挿入する。 ③ 主回路ネジを全て締付ける。 ④ ①～③を 3 回 (L1, L2, L3 端子) 繰り返す。 ⑤ 補助/制御電線を挿入する。(補助配線は未描画) ⑥ 補助/制御ネジを締付ける。 <p>※①～③と⑤⑥は逆でもよい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 補助/制御電線を配線する。 ② 主回路電線配線側の主回路ネジを外す。 ③ 逆側接触器の主回路ネジを緩める。 ④ 主回路電線 3 本を挿入する。 ⑤ 電源側主回路ネジで電線が掛かる程度に仮配線する。 ⑥ 電源側導体を挿入する。 ⑦ 主回路ネジを全て締付ける。